

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 パーフェクトスウィング	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.480	△RG 0.048	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：パーフェクトスウィング

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

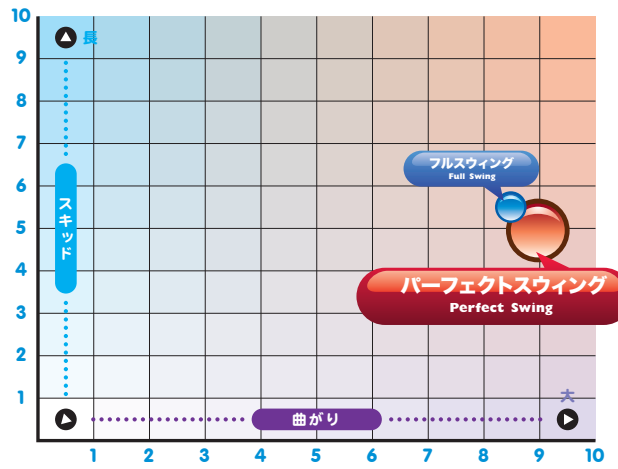
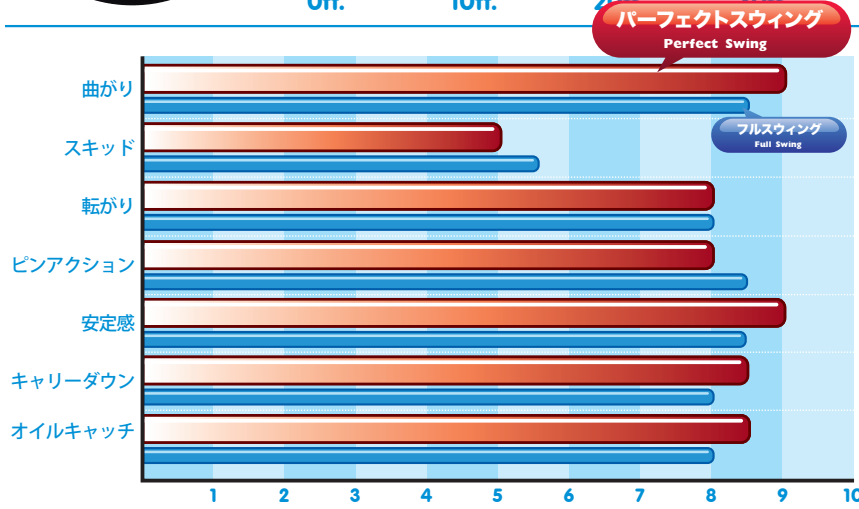
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：フルスウィング

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



ボールの評価

スウィングシリーズも第5弾。初代スウィングからフルスウィングまで、発売された全てのボールが優勝を成し遂げるという快挙を続けられているシリーズはすでに”優勝請負ボール”として確固たる地位を築き上げ、ABSはその快挙を成し遂げ続けられるボールとして今回このパーフェクトスウィングをリリース致します。

スウィングシリーズをスキッドする順に配列すると、パワースウィング>フルスウィング>パーフェクトスウィング>スパーズスウィング>スウィングの順になり、我々がこのパーフェクトスウィングに求めたものは、前作フルスウィングよりスキッドを短くし、シリーズ中ちょうど中間のスキッド力でありながら曲がり始めの”プレーキ度”を強めること。所謂スキッド感を確保しながらキャッチ力の強さを出し、強いトルクのある曲がり仕上げることで。

リアクションイメージはフルスウィングのフリップ状の動きではなく、スパーズスウィングにみる起き上がりから強いリアクションタイプ。手前から良く転がり、キャッチしながらスキッドするイメージはミッドエリアでの動きの安定に繋がり、初代スウィングの「スイートスポット」をやや遅らせた曲がりのイメージをもって頂けるでしょう。開発コンセプトとしてスウィングシリーズの中間のスキッド能力を持ちますが、レポートリーとの組み合わせで#2000、#1000と表面加工を施し、自分にあったスキッドを確保してその差を作ってください。

テスト段階で満場一致の「性能折り紙つき」のパーフェクトスウィング。

「完璧」なまでの仕上がりはきっと”優勝請負ボール”として伝説の1ページに加わるボールとなるでしょう。

特記事項

モーメントムスウィングの性能を受け継ぎ、扱い易さとやや先での「スイートスポット」を求めたスウィングシリーズ中間のスキッド性能です。